

食事摂取中の糖尿病患者
簡易測定器で**血糖4検**：毎食前+就寝前
血糖コントロール目標：**FBG 100~140mg/dL**
BG 140~180mg/dL

入院前の経口血糖降下薬、インスリン治療は原則として継続
新たな腎障害 (eGFR \leq 45mL/min/1.73m²) や明らかな
脱水がある場合は、改善するまでメトホルミン中止
入院に伴う食事の是正で血糖値が低下する恐れがある場合は、
インスリン分泌を促進する薬剤 (SU剤, グリニド) とインス
リン単位数を25~50%減量する

血糖値による薬剤調節

血糖高値のとき
(BG \geq 180mg/dL)

血糖低値のとき
(FBG \leq 100mg/dL, BG \leq 140mg/dL)

修正インスリン：毎食前の血糖測定の度に評価
超速効型インスリン：
インスリンアスパルト (ノボラピッド®)
BG ~179mg/dL → 追加なし
180~249mg/dL → 2単位皮下注
250~299mg/dL → 4単位皮下注
300mg/dL~ → 6単位皮下注

FBG \geq 140mg/dLの場合、修正インスリンを
継続しつつ基礎インスリン開始または増量

基礎インスリン
インスリン治療を行なっていない場合は以下を開始
持効型インスリン：
グラルギン (ランタス®)
0.2単位/kg/日、皮下注就寝前

基礎インスリン調整：1~2日毎に評価
持効型インスリン：
グラルギン (ランタス®), デテムル (レベミル®)
FBG ~ 69mg/dL → 半量に減量
70~100mg/dL → 20%減量
100~139mg/dL → 変更なし
140~179mg/dL → 20%増量
180~249mg/dL → 40%増量
250~299mg/dL → 60%増量
300mg/dL~ → 80%増量

低血糖に対する治療
BG \leq 70mg/dLのとき
可及的速やかにブドウ糖10g補食
または 50%ブドウ糖液40ml静注
1時間後にBG再検し、再度低血糖なら再び処置
さらに1時間後にBG再検し、再度低血糖なら
グルカゴン1mg皮下注または筋注

インスリン使用中の場合
FBG \leq 100mg/dLもしくはBG \leq 140mg/dL
なら責任インスリン (測定した血糖の1つ前の回
に打ったインスリン) の単位数を半減

内服薬減量
1日4回測定中1回でもBG \leq 140mg/dLなら
次の順で半減または中止
①SGLT-2阻害薬, チアゾリジン, グリニド, α GI
②SU剤
③DPP-4阻害薬
④メトホルミン